



公共施設マネジメント通信 羅針盤 Vol.1

創刊しました！

公共施設マネジメントとは

地方公共団体が保有する公共施設等を自治体経営の視点から総合的・統括的に管理・運営・活用する仕組みです。

松本市では、令和3年度、「公共施設マネジメント課」を新設し、公共施設マネジメントを強く推進しています。

その取り組みを進める上で、市民の皆様には公共施設の現状などをお知らせし、ご理解を得ながら取り組んでいくことが大切であることから「公共施設マネジメント通信羅針盤」を発行していくこととしました。

これから、「公共施設マネジメント通信羅針盤」を通じて、公共施設が抱えている問題やその問題の解決に向けた市の取り組みなどについて詳しくお知らせします。

創刊号の今回は松本市の「公共施設の現状」と「人口の現状と見通し」です。

老朽化した公共施設の整備が必要です

公共施設の現状

松本市は、昭和40年代後半まで続いた高度経済成長や周辺町村との合併等を経る中で、「教育施設」、「文化施設」などの公共施設（建築物）や「道路」、「上・下水道」などのインフラ資産といった、多くの公共施設等を整備してきました。公共施設（建築物）の整備状況に注目すると昭和40年以降大きく三つの山が見られ、近い将来、一斉に改修・更新時期を迎えます。

少子高齢化・人口減少が進み財源も限られる中、変化する市民の皆様のニーズに沿った、より快適で豊かな生活を送るための施設整備が必要であり、施設の長寿命化や最適化、適切な維持管理などにより有効活用を図る公共施設マネジメントを推進しています。

松本市が所有する全ての公共施設（建築物）・インフラ施設を対象とします。

公共施設【建築物】

文化・コミュニティ施設	子育て支援施設
観光・交流施設	住宅施設
スポーツ・公園施設	学校施設
行政施設	その他施設
医療保健福祉施設	

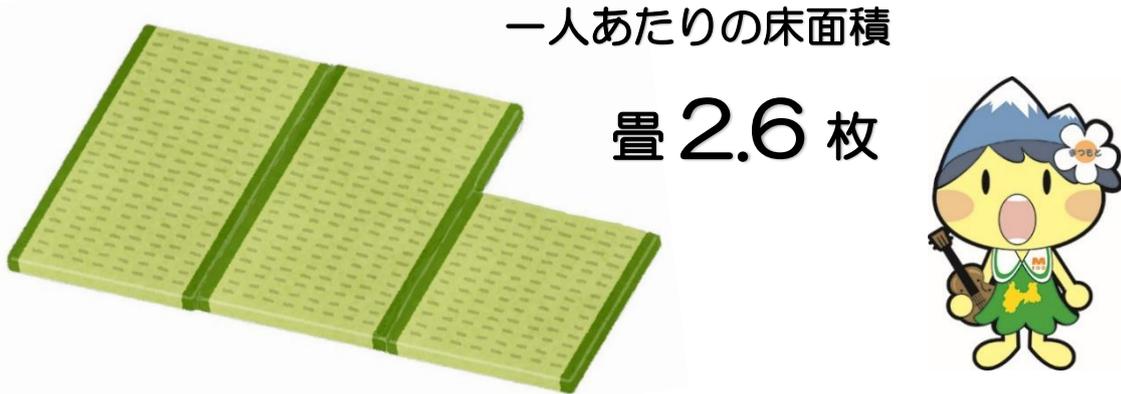
インフラ資産

道路	林道
橋梁	上水道施設
トンネル	下水道施設
鉄道との立体交差	農業集落排水処理施設
農道	

松本市の公共施設の「広さ」は？

公共施設（建築物）の延床面積

現在、松本市の公共施設（建築物）は**733施設**、**総延床面積約114万㎡**となっています。
東京ドーム約24個分に相当する松本市の公共施設（建築物）ですが、公共施設状況調査（令和元年度）を基に算出した人口1人当たりの延床面積は、畳2.6枚ほどの**4.27㎡**になります。

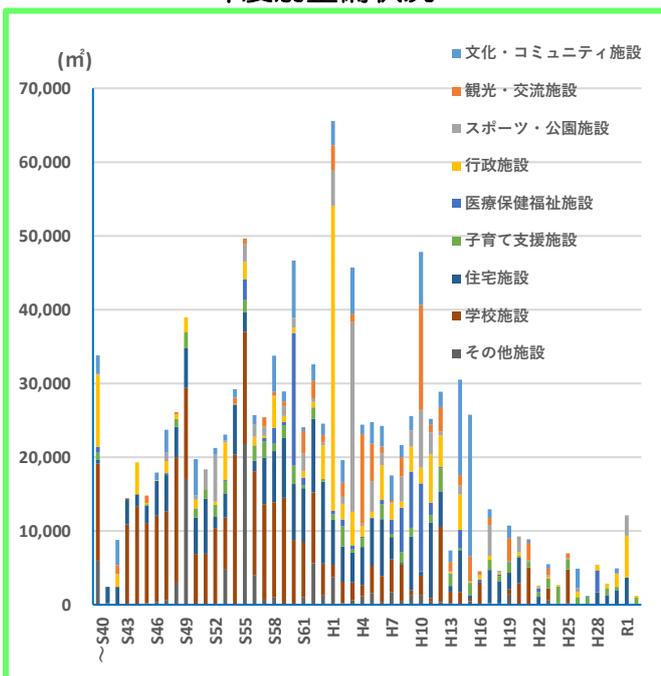


これは長野県内19市中7番目に少なく、19市の平均4.95㎡と比べると、1人当たり0.68㎡小さい値となっています。

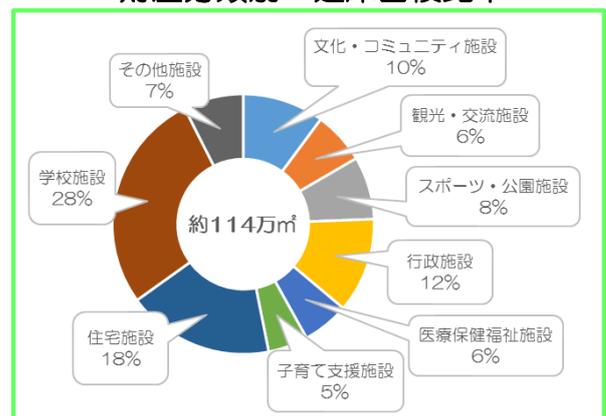
これらの施設は昭和40年代後半から平成10年代前半にかけて多くの施設が整備されており、延床面積の約60%が**建築後30年以上経過**しています。

今後、これらの時期に整備された公共施設（建築物）の建替え等が一時期に集中することとなり、同時期に多額の費用を必要とすることが予測されます。

年度別整備状況



財産分類別 延床面積比率



財産分類別延床面積 TOP3 は、学校施設が約31万㎡（28%）で最も多く、次いで住宅施設の約21万㎡（18%）、行政施設の約13万㎡（12%）の順となっています。

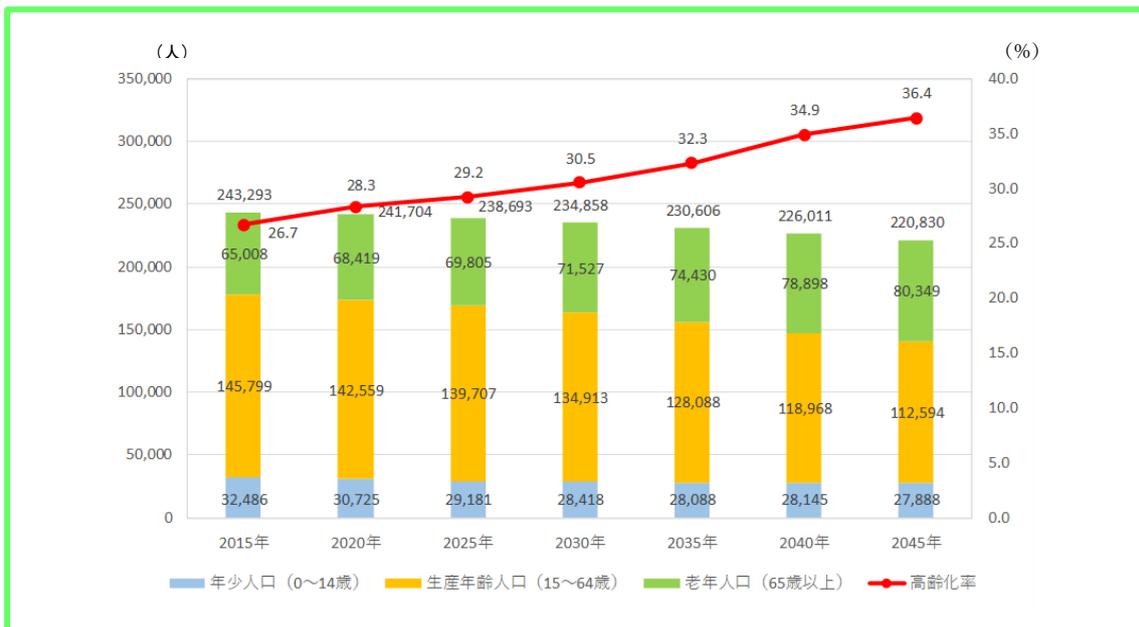
超少子高齢型人口減少社会がやってきます

人口の現状と見通し

松本市の人口は 2015 年で 243,293 人でしたが、2045 年には 220,830 人まで減少する見込みです。

また、年齢階層別の人口推計をみると 15 歳未満の年少人口は 2015 年の 32,486 人から 2045 年には 14.2%減の 27,888 人。一方 65 歳以上の老年人口は 2015 年の 65,008 人に対し 2045 年では 23.6%増の 80,349 人と年々高齢化率が上昇する見込みで、より一層少子高齢化が進み、「超少子高齢型人口減少社会」の到来が予想されます。

松本市の人口の推移・推計（松本市人口ビジョンより）



次号予告

老朽化した施設の改修・更新には多額の費用がかかります。また、超少子高齢型人口減少社会では財政状況がより厳しくなることが予想されます。

そこで、次号では「財政状況の見通し」、「基本方針と取組方針」等についてお伝えします。



ご意見などはこちらへ

松本市 総務部
公共施設マネジメント課
〒390-8620
松本市丸の内 3 番 7 号
TEL : 0263-34-3282
E-mail : k-shisetsu@city.matsumoto.lg.jp